



RED HAT® ENTERPRISE LINUX® + Extended Update Support

Red Hat Enterprise Linux のライフサイクルの考え方

Red Hat Enterprise Linux 6 サブスクリプションでは、標準的に 10 年間のメジャーバージョンサポートを提供しています。しかしながら、すべての利用可能なセキュリティ修正 (Security Advisory: RHSA) とバグ修正 (Bug Fix Advisory: RHBA) は現在アクティブなマイナーリリースに対してのみ提供されます。その期間は次のマイナーリリースが出るまで、およそ半年間です。

Red Hat Enterprise Linux のリリースの種類

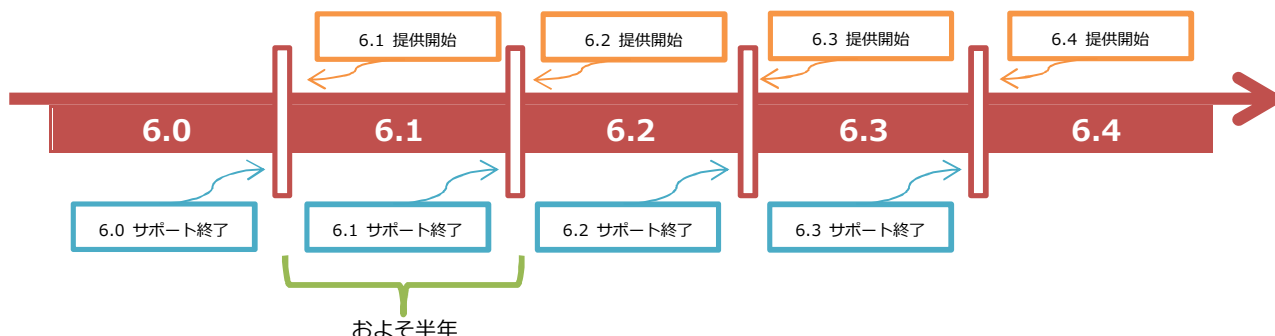
リリース	例	変更点	リリース頻度	サポート期間
メジャーリリース (メジャーバージョン)	RHEL5, RHEL6	メジャーリリースをまたぐ場合、基本的に別の製品として扱われる	およそ 3 年に 1 回	標準で 10 年間
マイナーリリース (マイナーバージョン)	RHEL6.0, 6.1, 6.2...	メジャーリリース・ファミリに内包される、新規パッケージの追加や機能拡張を含むアップデート	およそ半年に 1 回	次のマイナーリリースが出荷されるまで

EUS で特定マイナーリリースに長期サポートを

Extended Update Support (EUS) アドオンは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) のマイナーリリースを固定して、サポート期間を延長したい場合にご利用いただけるライフサイクルオプションです。EUS では、特定のマイナーリリースについて、その終了後に提供される重大影響度の RHSA と一部の緊急優先度の RHBA が個別に延長され、以降のマイナーリリースと並行して継続されます。

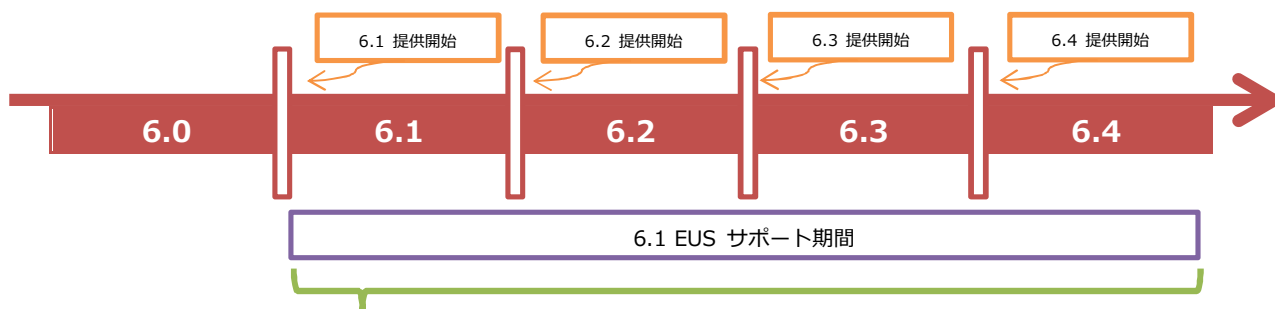
通常の Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションでは、新しいマイナーリリースが出荷されると、今までのマイナーリリースのサポートが終了し、古くなったマイナーリリース用の修正は終了します。マイナーリリースはおよそ半年毎にリリースされます。

通常の Red Hat Enterprise Linux のライフサイクル



例として RHEL 6.1 に EUS アドオンを利用した場合、以下に示すように、マイナーリリースのサポート期間を「次のマイナーリリース出荷日」から、「出荷日から 24 ヶ月」へ延長します。

Extended Update Support アドオン利用時のライフサイクル



EUS アドオンを追加することで、特定マイナーリリースに 24 ヶ月のサポートを追加することができます



EUS: システムの安定した長期運用を実現

- ✓ RHEL サブスクリプションは最新のマイナーリリースのみをサポートし、古くなったマイナーリリースはサポートされません。
- ✓ マイナーリリースはおよそ半年毎に出荷されます。
- ✓ マイナー間アップデートにはソフトウェアのベースバージョン変更(仕様変更・強化)が含まれます。
- ✓ EUS を利用した場合、ベースバージョンを揃えたままセキュリティアップデートやバグフィックスを適用可能です。
- ✓ EUS を利用した場合、完全にサポートされた状態で 24 ヶ月間、特定のマイナーリリースを運用することが可能です。

提供パッケージ例

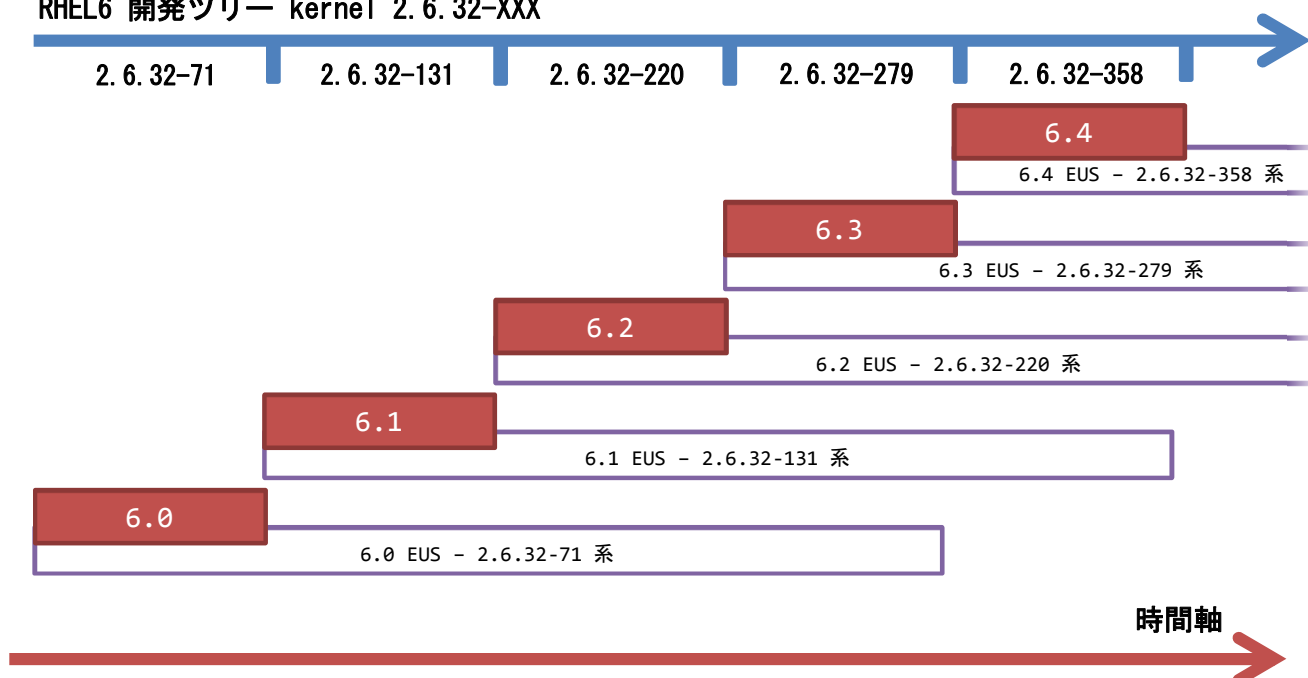
EUS を適用した場合の修正パッケージの一例として、kernel パッケージのアップデートの提供パターンを以下に示します。

	kernel バージョン
RHEL 6.2	2.6.32-220 ~ 2.6.32-220.23.1 (6.3 提供開始までアップデートを提供)
RHEL 6.2 EUS	2.6.32-220 ~ 2.6.32-220.XX.XX (6.2 提供開始から 24ヶ月間、2.6.32-220.23.1 以降も提供)
RHEL 6.3	2.6.32-279 ~ 2.6.32-279.22.1. (6.4 提供開始までアップデートを提供)
RHEL 6.3 EUS	2.6.32-279 ~ 2.6.32-279.XX.XX (6.3 提供開始から 24ヶ月間、2.6.32-279.22.1 以降も提供)

Red Hat Enterprise Linux の単一のマイナーリリース提供期間内では、セキュリティ修正 (Security Advisory: RHSA) またはバグ修正 (Bug Fix Advisory: RHBA) によるアップデートパッケージが提供されますが、この時ソフトウェアの互換性は確保されておりベースバージョンは変更されません。

しかしながらマイナーリリースをまたぐ場合 kernel をはじめ、以下に示すようにベースバージョンの変更が行われるソフトウェアが数多く存在します。EUS を利用した場合、ベースバージョンの変更による管理者の検証負荷を最大限抑えつつ、セキュリティ対策や、不具合解消の恩恵を長期間得ることが可能です。

RHEL6 開発ツリー kernel 2.6.32-XXX



ユースケース: どんな時に EUS は利用するか

次のようなケースでは、マイナーリリースを固定しつつセキュリティ対策や、不具合解消を行うことが可能な EUS アドオンがマッチします。

- ✓ 本番環境にて、運用上再起動が難しくアップデート適用を計画的に行いたいが、6ヶ月毎のマイナーリリースに常に追従することは検証コスト的に難しい。しかし、クリティカルなバグやセキュリティ修正は極力適用したい。
 - ⇒ EUS を利用することで、マイナーリリースアップデートの適用検証計画のスパンを、完全にサポートされる状態で延長することが可能です。さらに、互換性を保ちながらクリティカルなバグやセキュリティ修正も適用することができます。
- ✓ 他社製商用製品など、利用するソフトウェアの要件が『RHEL 6.2』など、マイナーリリースを指定している。
 - ⇒ EUS に提供されるアップデートパッケージは、重大なバグ修正やセキュリティ修正であり、互換性が保たれます。

Q&A: EUS に関するよくあるご質問

- Q** EUS のサブスクリプションを 1 年間で購入しましたが、この期間が過ぎた後でも、EUS のサポート(24 ヶ月)を受けることができますか？
- A** いいえ、EUS のサポート期間内であっても、サブスクリプションが失効している場合、サポートを受けることができません。サポートを継続して受ける場合、サブスクリプションを更新する必要があります。
- Q** EUS 期間中は、どのパッケージのアップデートが提供されるのでしょうか？
- A** 本紙例では kernel パッケージに焦点を当ててご案内しましたが、例えば BIND、Apache httpd、OpenJDK など、提供されるパッケージに重要なセキュリティ修正、またはバグ修正が存在する場合、各パッケージにおいて修正が提供されます。
- Q** EUS を単体購入することはできますか？
- A** EUS は RHEL に追加するためのアドオン製品です。したがって、RHEL のサブスクリプションをお持ちでない場合、お買い求めいただくことができません。なお、既に RHEL のサブスクリプションをお持ちの場合、EUS を単体購入し、既存のサブスクリプションに加えることが可能です。
- Q** RHEL6 では、全てのマイナーリリースに対して EUS が提供されるのでしょうか？
- A** いいえ、EUS オプションが提供されるのは、RHEL ライフサイクルフェーズ 1 (運用 1 フェーズ) 中に出荷されるマイナーリリースのみの予定です。したがって、RHEL6.0 出荷から 5 年 6 ヶ月 = 2016 年第 2 四半期までに出荷されるマイナーリリースのみのオプションとなります。

※2015年6月現在、RHEL7.1までリリースされています。最新のリリースバージョン並びに、EUS提供情報は、下記よりご確認ください。

<https://access.redhat.com/ja/support/policy/updates/errata>

※RHEL2013モデルでは、Premiumサポート付製品を購入すると、標準でEUSが付属します。

【サイオステクノロジーについて】

サイオステクノロジーは、1997年の創業以来、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェア（OSS）の開発と利用を軸に、OS（基本ソフトウェア）からWebアプリケーションソフトウェアにかかわる事業を推進し、情報システムのコスト削減に関する取り組みを推進しています。また、市場が拡大しつつあるクラウドコンピューティング分野でも、OSSの利活用を通じて、最先端のシステムを提供しています。

これから革新的なソフトウェア技術を追求し、世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」となって価値を創造し、社会の発展に貢献してまいります。

【お問い合わせ先】

サイオステクノロジー株式会社 営業窓口

Tel : 03-6401-5222

お問い合わせ : <http://www.sios.com/products/oss/redhat/contact/>

Linuxは米国及びその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。

Red Hat、Red Hat Enterprise Linux、JBossおよびShadow Man ロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windowsまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載されている会社及び製品の名称は、各社の商標または登録商標です。

本資料に掲載された内容の無断複製・転載を禁じます。

Copyright©SIOS Technology, Inc. All Rights Reserved